

登山報告書

報告者 竹村勇紀

1. 参加者： 4年生1人、3年生2人、2年生2人、1年生3人 計8名
2. 実施日： 2016年5月8日（日）
3. 行動報告： （徒歩→ バス ➡） 晴れ、風が少し吹き日差しが強い

	秦野駅	➡	ヤビツ峠	→	富士見山荘	→	三ノ塔	→	行者ヶ岳
着			9:08		9:32		10:18		11:30
発	8:18		9:05		9:40		10:28		11:36
→	新大日	→	塔ノ岳	→	堀山の家	→	大倉	➡	渋沢駅
着	12:12		12:50		14:53		16:18		16:50
発	12:17		14:05		15:07		16:38		



4. 評価：

関東圏で比較的アクセスがしやすいことに加え、本格的な尾根歩きができ景色もよく、その人気の高さも頷ける。しかし地図にもある通り危険な箇所(鎖場)がいくつかあり、小さい子供だと少し大変なところがあった。このため日帰りの登山としてはグレードの高いところであると感じる。山登りに慣れ、初めて一人で山行しようとしたときに、易しすぎないレベルで達成感があるだろう。

5. 反省、総括：

今回は距離も長く、途中危険な部分もあり実施前は心配な箇所もあったが新しく入った人たちも元気で歩いていた。報告者が一番疲れを残した形となった。「せっかちか！」と思いながら歩いた。睡眠時間が当初の予定よりも押してしまったため欠席となってしまった人がいたのは残念だったが、ケガもなく山行を終えることができて良かった。計画としては山頂には計画より 50 分ほど早く到着し、その分長い時間昼食などに充てた。天気にも恵まれていたこともありみんなよく寝ていた。下りに関しても同様に駆けるように歩いていき、結果として1~2本早い時間のバスで帰ってくることもできた。

新入部生との親睦を深めるということがこの山行の目的であったが、新入生同士の親睦が深められたという点でこの目的は達成できただろう。少しずつ個性が分かってきた気がする。走りたがる人、バドミントンを始める人など様々だった。お互いが過度に気を遣いすぎると実際に何か起きたときに連絡が遅れ、結果として対処が遅れることにつながる。会話のしやすい風通しの良い環境を今後も創っていきたい。

課題としては人数が増えたことによる共通認識の希薄化が挙げられる。まだ入ったばかりなので仕方がないが、ひとつずつ確認していきたい。今後の泊まり登山では全員が何かしらの共同装備を持つこととなる。ありがたいことに人数が劇的に増え、そのこともあり共同装備の数も増えた。装備によってはその装備がない場合は山行そのものが中止となることになるので気を付けたい。

最後に、参加者がみんな元気であったためこの元気が続いていけば活動により活気が出ることだろう。とても楽しい山行であった。

